

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2019

- 開催日 2019年12月20・21日(金・土)
- 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 主催 ESD 活動支援センター・文部科学省・環境省
- テーマ 「SDGs を地域で達成していくための人づくり:ESD for 2030 を見据えて」

2019年がESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)の最終年であり、GAP後継プログラムが国際的に策定される年であることから、次のステップに進むための意見交換を中心に開催されました。

【1日目】

セッション1:ESDの国際動向・国内動向について文部科学省・環境省による発表で、ESD for 2030国内実施に向けた今後の枠組みの共有がされました。

セッション2(パネルディスカッション):SDGsを地域で達成していくための人づくりとそのためのネットワークのさらなる展開について、教育委員会・学校・社会教育・自治体・企業の各セクター代表による意見交換がなされました。この中の意見で「学校と地域の連携で、大人を変えるための学びを創れ!!」が心に残りました。

セッション3:地域でESDを広め、深めるための課題と工夫について、参加者全員(100名を超える大人数)が各セクターのグループ意見交換をしました。

【2日目】

セッション4:今回の目標である「ESD for 2030」を見据えたESD推進のあり方について、参加者全員が5テーマに分かれて意見交換しました。テーマ:①新しい学習指導要領をふまえて社会と進めるESD ②企業がめざす地域におけるSDGs人づくり ③ユースと共に進めるマルチステークホルダーの連携 ④体験活動を提供する組織内のESD意識醸成 ⑤AI等の技術革新と教育・人材育成について考える。

セッション5:2日間の全体分科会の共有とフォーラム2019成果の取りまとめが行われ、閉会となりました。終了後には、「教員に役立つ!ESD実戦の視点からのSDGs深掘りセミナー」が日本ESD学会とESD活動推進センターが共同で開催されたことは、2020年に向けてつながる一歩となったと考えました。

